

## 女子の身体的理想像に関する研究（その8）

——顔の輪廓とその美しさとの関係について——

和 泉 貞 男

### はじめに

女子の身体的理想像とは「健康で、機能的にすぐれ、かつ美しいこと」をさすものと考えられる。

この中で、健康や機能を体育の対象とすることには異議をとない人は一人もないと信ずるが、美しさを体育の対象とすることには若干の異議が生ずることが考えられる。それは、「美しさは生れつきの要素を多分に含んでいるとともに、美しさは主観的なものであって、これを体育の対象とすることは無意味であり弊害を伴う」との考え方によるものと思われる。

しかしながら、「美しさ」は先天的な要素が多いけれども後天的な要素も含んでいるということ、また、「美しさ」は主観に左右され易いが客観性を多分に含んでいることを知らねばならない。

美しい女性を欲するのは男子の願いであるが、その対象となる女性にとって美しさを増大するための物的、心的努力たるや想像に絶するものがある。それは単なる希望とか見栄とかの生やさしいものではなく、命がけの欲求である。

筆者もその一人であるが、いままでの体育において、指導者が「女子の美しさを増すこと」にどれだけの配慮や努力をなし得たであろうか。

体育の目標に「健康になれ、強くなれ」とあるが、「美しくなれ」とは書かれていない。それどころか、時には美しさの増す教育的措置を邪道視するくらいさえあった。「人の欲することを正しくかなえさせる」ことが教育の基本であるとするならば、女性を美しく育てることこそ体育指導者の重要な仕事といわねばならない。

さて、美しさを体育の対象とする場合にいくつかの条件が考えられるが、その一つは後天的な要素に限ることである。「努力すれば美しくなる」ということがなければ美しさを体育の対象にすることは出来ない。このことから、筆者は美しさをとりあげるとき出来るだけ幅育に限ることとした。つぎに美しさの数量化、客観化という作業が必要である。美しさが抽象的、主観的なものである限り美しさを増大しようとする時の目標が立てられない。美しさをより確実に増すためには出来るだけ美しさの評価を数量化することが必要であり、また、より多くの人による評価であらねばならない。さらに、美しさを形成する要素は極めて複雑多岐なものであるから、もし美しさの要素を分析することなく、総合的な評価のみに終ればその美しさはどの要素によるものか。また、どの程度に関与しているかわからなくなり、目標がぼやけてしまう。このためには一回毎にごく少数の要素、出来れば一つの要素についてのみ検討してその評価を確実にした上でつぎの要素に進み、これを繰り返すことによって総合した美しさの評価を完成する手順が必要である。このことか

ら、筆者は多くの要素の混入する写真像を用いての評価を避けることとした。

以上述べた理由により、筆者は美しさの評価法として幅育の中の 1~2 要素のみを含む略画を出来るだけ等差的に作成してアンケート用紙にのせ、これを多くの観察者に配布して評価して貰うという方法をとった。

なお、これまでに行った一連の研究をあげると下記の通りであった。

●和泉貞男 女子の身体的理想に関する研究

(その 1) 全身並びに下腿の幅育と美しさとの関係について

(その 2) 上肢及び下肢の幅育と美しさとの関係について

(その 3) 胴体のくびれかたと美しさとの関係について

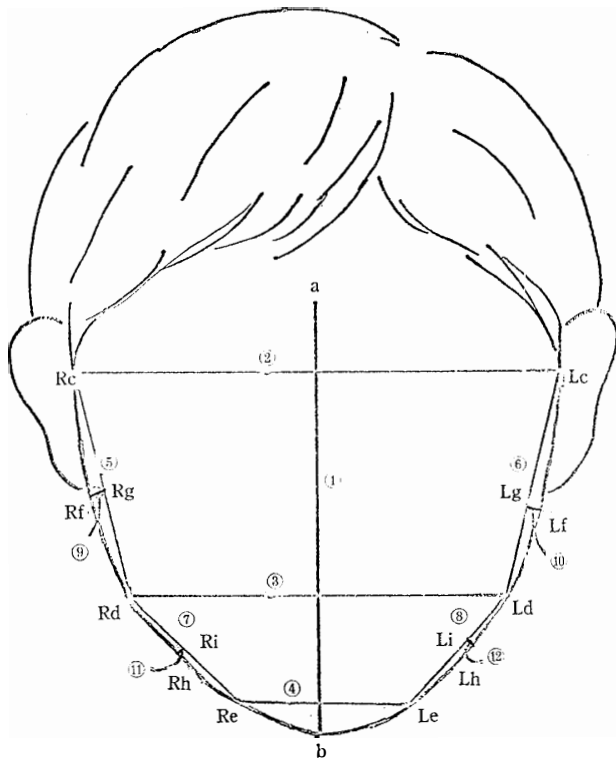
(その 4) 姿勢と美しさとの関係について

(その 5) 歩行時の膝の角度とその美しさとの関係について

(その 6) 膝、角度、足の角度とそれらの美しさとの関係について

(その 7) 上腕部の幅、形とその美しさとの関係について

今回は (その 8) として顔の輪廓の美しさを取りあげた。顔が比較的後まわしになったのは、顔は人間の形態的諸要素の中で最も複雑かつ集約的なものであるため、その評価や尺度化が困難であると考えたためであった。



R・・・右  
L・・・左  
a・・・鼻根点  
b・・・頤点  
c・・・頬部の突出部  
d・・・顎部上方の最突部  
e・・・顎部下方の最突部  
f・・・c dを弦とする弧の最高点  
g・・・fよりc dに下した垂線の  
交点  
h・・・d fを弦とする弧の最高点  
i・・・hよりd eに下した垂線の  
交点

第1表 顔の輪廓の分析項目

写真の計測項目	符 号
① 顔 面 高	(a. b)
② 頬 幅	(Rc. Lc)
③ 顎 幅	(Rd. Ld)
④ 頤 幅	(Re. Le)
⑤ 頬 長 (右)	(Rc. Rd)
⑥ 頬 長 (左)	(Lc. Ld)
⑦ 顎 長 (右)	(Rd. Re)
⑧ 顎 長 (左)	(Ld. Le)
⑨ 頬豊度 (右)	(Rf. Rg)
⑩ 頬豊度 (左)	(Lf. Lg)
⑪ 顎豊度 (右)	(Rh. Ri)
⑫ 顎豊度 (左)	(Lh. Li)

図1 顔の輪廓の分析法

### I. 研究目的

女子の身体的理想像を求めるに当って、まず女子の形態的美しさをとりあげ、それを体育の対象にするために美しさの数量化、客観化をはかろうとした。このため、意図的に幅育が等しい差をもついくつかのモデルを画き、これをアンケート用紙にのせて多数の観察者に評価させる方法をとったが、このようにして得た理想像を、将来体育の場において実現に導くことを究極の目的とした。

今回は (その8) として、顔の輪廓の美しさを取りあげた。

### II. 研究方法

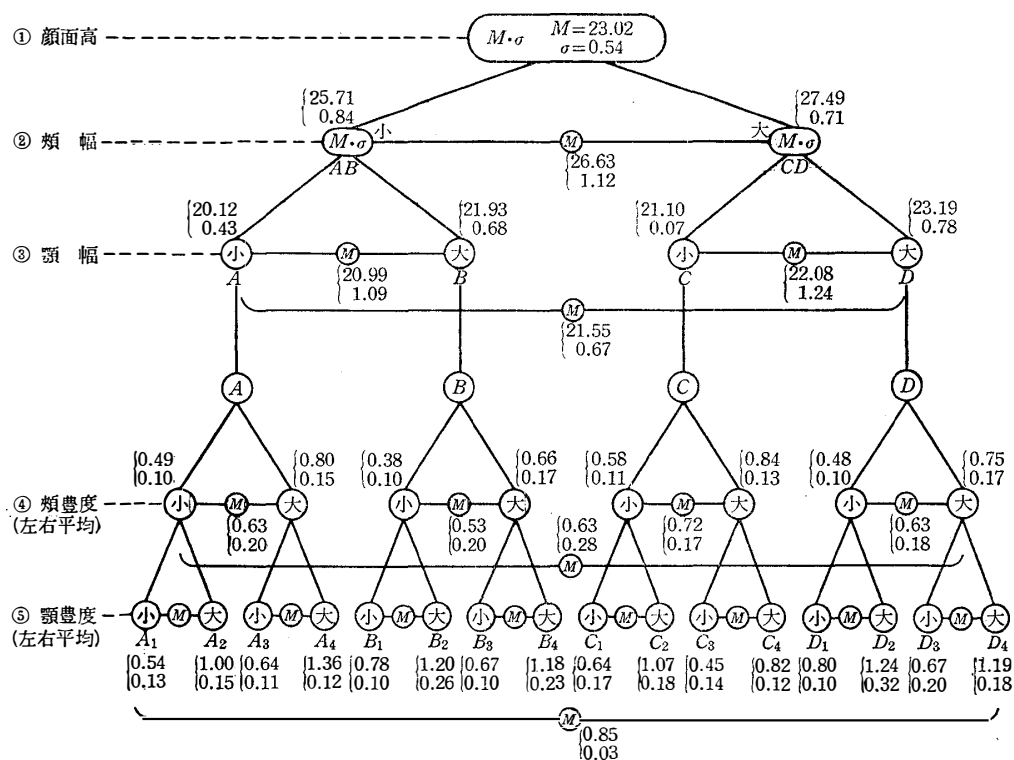
#### I) アンケート用紙の作成について

前述のように、本研究では顔の輪廓の美しさについての評価に当って、実物や写真像による評価を避けて略画による評価方法をとったのであるが、それをのせたアンケート用紙の作成にはかなりの努力を要した。以下そのアンケート用紙の作成方法について述べてみたい。

#### 〔I〕 計測項目の決定

① 東京女子体育大学の学生 376 名について顔の写真をとり、顔の美しさを決める要素としての計測項目をみつけようとした。この時の撮影条件は正面方向で、被写体との距離 1 m、高さを被写体の顔の中央部とした。

② 顔面の写真像から顔の輪廓の分析を第1図、第1表のように行った。第1表に示した 12 項目のうち、計測がし易く、かつ顔の輪廓の美しさをあらわす重要なものとして、



第2表 顔の輪廓の分類順序

顔面高（顔の長さ）、頬幅、顎幅、頬豊度（ほほのふくらみ）、顎豊度（あごのふくらみ）の5項目をとりあげた。

## 〔II〕 モデルの決定

① アンケート用紙にのせるモデルを決定するために、前述の5つの計測項目から、顔の輪廓を第2表に示す16種のタイプに分類した。この場合、顔面高は生得的な要素が多いと考えて一定の大きさ 23.00 mm ( $M=23.02$  mm) とするとともに、ばらつきを出来るだけ小さくするために376名中  $M \pm 0.5\sigma$  のもの187名を以後の対象とした。つぎに頬幅の大小により2群に分割した。以下顎幅、頬豊度、顎豊度の順にそれぞれの大小によって順次2分して計16種のタイプに分類し、 $A_1 \sim D_4$  の記号をつけた。それぞれのタイプの  $M$  および  $\sigma$  は第2表の如くであり、タイプ別人数は第3表の通りであった。

② 16タイプごとに、それぞれの  $M$  を基礎として、出来るだけ数値を簡約かつ等間隔化し、評価の尺度化を便利にするための理論値を算出した。（第4表）

③ 前記の理論値をもとに、各タイプ毎のモデルを16個画いた。このようにして出来上ったモデルの数値を実測したところ、理論値と若干のくい違いが生じたが、この研究には重大な支障がないと判断して、アンケート用紙にのせることとした。（アンケート用紙参照）

## II〕 美しさの評価について

〔I〕 上記のようにして得たアンケート用紙を出来るだけ多くの層にわたって、多くの観察者に配布し、美しさの評価の客観性を高めようとした。観察者の性別、年齢別人員は第5表に示す通りであった。

〔II〕 評価の方法としては、各モデル毎に、「たて」、「よこ」それぞれに1位から4位までの順位をつけて貰い、1位を4点、2位を3点、3位を2点、4位を1点として換算し、各モデルごとに観察6群別合計点、平均値、順位を算出した。

〔III〕 前記の方法による評価において、最も上位となったモデルを実物に換算するとどのような大きさとなるかをしらべた。

〔IV〕 観察者の評価が、観察の性も年齢と関連があるかどうかを統計にしらべるために  $\chi^2$  テストを行った。

第3表 顔の輪廓のタイプ別  
(16個) 人数

タイプ		人数	計
A 型	A <sub>1</sub>	11(名)	187名
	A <sub>2</sub>	13	
	A <sub>3</sub>	11	
	A <sub>4</sub>	13	
B 型	B <sub>1</sub>	10	
	B <sub>2</sub>	11	
	B <sub>3</sub>	10	
	B <sub>4</sub>	12	
C 型	C <sub>1</sub>	12	
	C <sub>2</sub>	15	
	C <sub>3</sub>	10	
	C <sub>4</sub>	12	
D 型	D <sub>1</sub>	11	
	D <sub>2</sub>	10	
	D <sub>3</sub>	14	
	D <sub>4</sub>	12	

## III. 研究結果

### I〕 観察者の性別、年齢別にみた顔の輪廓の美しさの評価

前記のような方法で観察者が行つた顔の輪廓の美しさの評価を、モデル毎に観察者の性別、年齢別にまとめてみると第5-1表、第5-2表、第2図のようになった。すなわち

第4表 写真の実測値, アンケートの理論値, アンケートの実測値













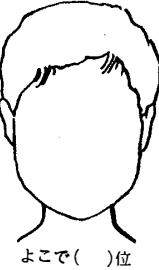



項目		A <sub>1</sub>	A <sub>2</sub>	A <sub>3</sub>	A <sub>4</sub>	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	B <sub>3</sub>	B <sub>4</sub>	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	C <sub>4</sub>	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>
顔 面 高	① 写真の実測値 (M)	23.02	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	(σ)	0.54	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	② アンケートの理論値	23.0	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	③ アンケートの実測値	23.2	23.2	23.4	23.4	23.2	23.2	23.2	23.0	23.2	23.2	23.4	25.8	23.8	23.8	23.8	23.8
頬 幅	① 写真の実測値 (M)	25.71	"	"	"	"	"	"	"	27.49	"	"	"	"	"	"	"
	(σ)	0.84	"	"	"	"	"	"	"	0.71	"	"	"	"	"	"	"
	② アンケートの理論値	25.5	"	"	"	"	"	"	"	27.5	"	"	"	"	"	"	"
	③ アンケートの実測値	25.5	25.2	25.6	25.8	25.0	25.7	25.7	25.5	26.7	26.7	27.0	27.0	26.6	27.0	27.6	27.4
顎 幅	① 写真の実測値 (M)	20.12	"	"	"	21.93	"	"	"	21.10	"	"	"	23.19	"	"	"
	(σ)	0.4	"	"	"	0.68	"	"	"	0.67	"	"	"	0.78	"	"	"
	② アンケートの理論値	20.0	"	"	"	22.0	"	"	"	21.0	"	"	"	23.0	"	"	"
	③ アンケートの実測値	19.8	19.8	19.8	20.6	21.6	21.8	22.0	21.8	20.2	20.8	20.6	21.0	22.8	22.8	22.8	23.0
頬 豊 度	① 写真の実測値 (M)	0.49	"	0.80	"	0.38	"	0.66	"	0.58	"	0.84	"	0.48	"	0.75	"
	(σ)	0.10	"	0.15	"	0.10	"	0.17	"	0.11	"	0.13	"	0.10	"	0.17	"
	② アンケートの理論値	0.4	"	0.80	"	0.40	"	0.87	"	0.40	"	0.80	"	0.40	"	0.80	"
	③ アンケートの実測値	0.50	0.30	0.90	0.90	0.60	0.40	0.90	0.90	0.60	0.60	0.90	0.80	0.60	0.50	0.80	0.70
顎 豊 度	① 写真の実測値 (M)	0.54	1.00	0.64	1.36	0.78	1.20	0.67	1.18	0.64	1.07	0.45	0.82	0.80	1.24	0.67	1.19
	(σ)	0.13	0.15	0.11	0.12	0.10	0.26	0.10	0.23	0.17	0.18	0.14	0.12	0.10	0.32	0.20	0.18
	② アンケートの理論値	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00
	③ アンケートの実測値	0.40	0.90	0.50	0.80	0.40	0.80	0.50	1.00	0.50	0.90	0.60	1.00	0.50	1.00	0.50	1.00

女子の身体的理想像に関する研究 (その8)

## 女子の身体に関する調査

下記の図は、女子の顔の輪かくの美しさに関する調査です。16個のモデルについてそれぞれに、たて、よこの別に美しいと思われる順に順位をつけて下さい。(たて、よこ共に1位から4位まで)

あなたの性別 男・女 ( ) 才 職業 ( )

<p>A<sub>1</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>A<sub>2</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>A<sub>3</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>A<sub>4</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>
<p>B<sub>1</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>B<sub>2</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>B<sub>3</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>B<sub>4</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>
<p>C<sub>1</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>C<sub>2</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>C<sub>3</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>C<sub>4</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>
<p>D<sub>1</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>D<sub>2</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>D<sub>3</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>	<p>D<sub>4</sub></p>  <p>たてで( )位 よこで( )位</p>

昭和 48 年 5 月東京女子体育学

第 5-1 表 観察者の性別、年齢別顔の輪廓の美しさの評価順位 (男子)

観察者		タイプ		A 型				B 型				C 型				D 型				
				A <sub>1</sub>	A <sub>2</sub>	A <sub>3</sub>	A <sub>4</sub>	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	B <sub>3</sub>	B <sub>4</sub>	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	C <sub>4</sub>	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	
男	10代	採点合計	たて	473	363	432	476	262	311	294	237	399	459	335	398	166	167	239	189	
			よこ	432	194	407	267	402	296	449	153	439	348	315	198	342	270	485	203	
			計	905	557	839	743	664	607	743	390	838	807	650	596	508	437	724	392	
		平均	6.96	4.28	6.45	5.72	4.95	4.67	5.72	3.00	6.45	6.21	5.00	4.58	3.91	3.36	5.57	3.02		
		順位	1	12	2	5	8	10	5	16	3	4	9	11	13	14	7	15		
	130人	20代	採点合計	たて	524	421	490	565	323	359	353	274	471	541	400	461	179	178	258	200
				よこ	491	226	474	309	457	368	512	173	480	413	395	212	401	304	572	223
				計	1,015	647	964	874	780	727	865	447	951	954	795	673	580	482	830	423
		平均	6.77	4.31	6.43	5.83	5.20	4.85	5.77	2.98	6.34	6.36	5.30	4.49	3.87	3.21	5.53	2.83		
		順位	1	12	2	5	9	10	6	15	4	3	8	11	13	14	7	16		
150人	30代	採点合計	たて	344	331	316	379	255	269	241	215	319	365	300	322	142	133	205	139	
			よこ	314	193	330	223	332	249	353	126	320	294	281	165	280	229	392	159	
			計	658	524	646	602	587	518	594	341	639	659	581	487	422	362	597	298	
	平均	6.21	4.94	6.09	5.68	5.54	4.89	5.60	3.22	6.03	6.22	5.48	4.59	3.98	3.42	5.63	2.81			
	順位	2	10	3	5	8	11	7	15	4	1	9	12	13	14	6	16			
106人	子			平均	6.21	4.94	6.09	5.68	5.54	4.89	5.60	3.22	6.03	6.22	5.48	4.59	3.98	3.42	5.63	2.81
				順位	2	10	3	5	8	11	7	15	4	1	9	12	13	14	6	16

女子の身体的理想像に関する研究 (その8)

第 5-2 表 観察者の性別, 年齢別, 顔の輪廓の美しさの評価順位 (女子)

観察者		タイプ		A 型				B 型				C 型				D 型			
				A <sub>1</sub>	A <sub>2</sub>	A <sub>3</sub>	A <sub>4</sub>	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	B <sub>3</sub>	B <sub>4</sub>	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	C <sub>4</sub>	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>
女	10代 158人	採点合計	たて	562	473	510	579	306	362	367	290	512	564	409	493	205	181	294	208
			よこ	521	234	521	304	467	375	561	177	550	417	409	204	446	319	597	218
			計	1,083	707	1,031	883	773	737	928	467	1,062	981	818	697	651	500	891	426
		平均	6.85	4.47	6.53	5.59	4.89	4.66	5.87	2.96	6.72	6.21	5.18	4.41	4.12	3.16	5.64	2.66	
		順位	1	11	3	7	9	10	5	15	2	4	8	12	13	14	6	16	
	20代 158人	採点合計	たて	452	372	400	470	266	301	304	245	371	447	326	380	171	140	230	165
			よこ	402	196	393	269	361	308	444	147	391	350	339	180	344	249	465	202
			計	854	568	793	739	627	609	748	392	762	797	665	560	515	389	695	367
		平均	6.78	4.51	6.29	5.87	4.98	4.83	5.94	3.11	6.05	6.33	5.28	4.44	4.09	3.09	5.52	2.91	
		順位	1	11	3	6	9	10	5	14	4	2	8	12	13	15	7	16	
子 110人	30代 採点合計	たて	374	323	357	411	229	269	246	218	350	377	295	326	148	130	202	145	
		よこ	334	185	360	221	342	263	353	142	347	315	295	143	296	228	408	168	
		計	708	508	718	632	571	532	599	360	697	692	580	469	444	358	610	313	
	平均	6.44	4.62	6.52	5.72	5.19	4.84	5.45	3.27	6.34	6.29	5.27	4.26	4.04	3.25	5.55	2.85		
	順位	2	11	1	5	9	10	7	14	3	4	8	12	13	15	6	16		
観全 察者 体	780人	順位	1	11	2	6	9	10	5	15	3	4	8	12	13	14	7	16	
		合計平均	5,223	3,511	4,990	4,473	4,002	3,730	4,477	2,397	4,949	4,890	4,089	3,482	3,120	2,528	4,347	2,219	
			平均	6.70	4.55	6.40	5.73	5.13	4.78	5.74	3.07	6.34	6.27	5.24	4.46	4.00	3.24	5.57	2.84



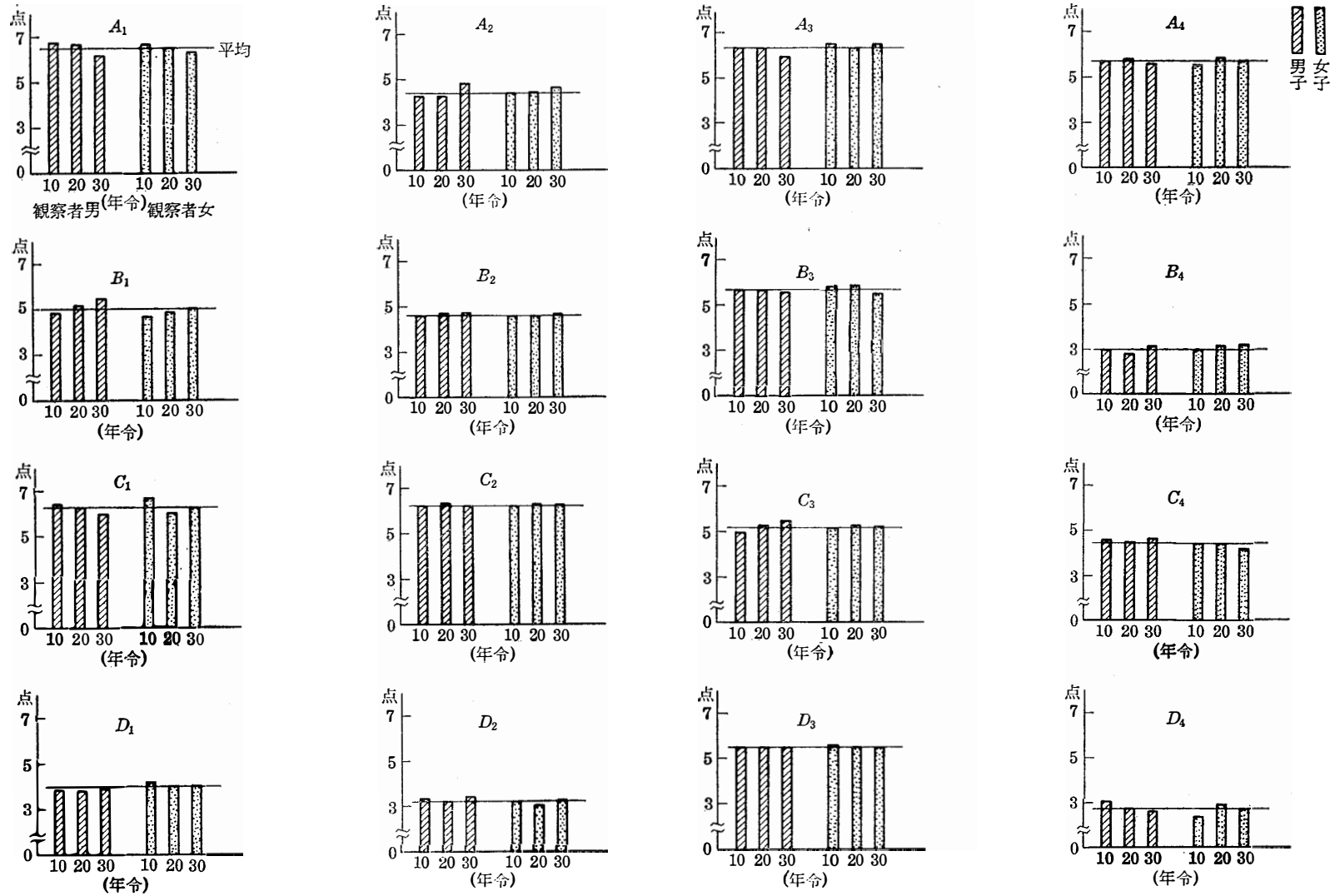


図2 タイプ別, 観察者別美しさの評価 (顔の輪廓)

観察者男子 10 代では1位がモデル A<sub>1</sub> (M=6.96)

” ” 20 代では1位がモデル A<sub>1</sub> (M=6.77)

” ” 30 代では1位がモデル C<sub>2</sub> (M=6.22)

観察者女子 10 代では1位がモデル A<sub>1</sub> (M=6.85)

” ” 20 代では1位がモデル A<sub>1</sub> (M=6.78)

” ” 30 代で1は位がモデル A<sub>3</sub> (M=6.52)

であって、観察者全体では1位がモデル A<sub>1</sub> (M=6.70) であった。

II) 最も美しいとされたモデルの  
物換算

アンケート用紙に画かれた 16 個のモデルの中で最も美しいとみられたモデル A<sub>1</sub> を実物に換算したところ表 6 のようになった。

なお、このモデルはアンケート用紙にのせた 16 個のモデルの中では、頬幅、顎幅、頬豊度、顎豊度の 4 項目のすべてが最も小さいモデルであった。

第 6 表 理想的な顔の輪廓  
(アンケート用紙のモデルから推察)

項 目	アンケートの 実 測 値	生体の実測値
顔 面 高	23.2 (mm)	11.60 (cm)
頬 幅	25.5 ( ” )	12.75 (cm)
顎 幅	19.8 ( ” )	9.90 (cm)
頬 豊 度	0.5 ( ” )	2.50 (mm)
顎 豊 度	0.4 ( ” )	2.00 (mm)

III) 顔の輪廓の美しさの評価の統計的検討

第 7 表 観察者の性および年令と顔の輪廓の美しさの採点との  $\chi^2$  テスト

モデル	性 別			年 令 別					
	男 女 10 代	男 女 20 代	男 女 30 代	10代 男	20代 男	30代 男	10代 女	20代 女	30代 女
A <sub>1</sub>	12.817**	0.100	2.669	26.803**			17.674**		
A <sub>2</sub>	2.950	1.639	3.669	6.242			1.210		
A <sub>3</sub>	2.482	3.053	5.472	7.257			4.156		
A <sub>4</sub>	0.543	0.220	7.269	12.338			4.352		
B <sub>1</sub>	3.321	11.649**	4.492	12.005			8.707		
B <sub>2</sub>	8.522*	4.125	1.414	7.531			7.228		
B <sub>3</sub>	2.168	8.946*	1.201	1.416			13.716*		
B <sub>4</sub>	8.377*	5.036	2.024	16.172*			10.303		
C <sub>1</sub>	4.542	7.971*	5.089	16.957*			28.269**		
C <sub>2</sub>	4.007	3.503	2.323	3.156			6.894		
C <sub>3</sub>	1.452	0.281	0.409	10.080			5.587		
C <sub>4</sub>	3.957	2.622	6.235	0.951			6.501		
D <sub>1</sub>	2.311	2.276	2.409	6.593			1.854		
D <sub>2</sub>	4.795	1.715	1.742	5.173			2.870		
D <sub>3</sub>	0.515	4.803	0.193	2.689			3.363		
D <sub>4</sub>	8.108*	3.258	0.761	6.607			12.264		

\* 5%水準で有意……df 3 のとき 7.815, df 6 のとき 12.592

\*\* 1%水準で有意……df 3 のとき 11.345, df 6 のとき 16.812

前述のように、顔の輪廓の美しさの評価は観察者の性や年齢で若干差があることが判明したが、この差がはたして統計的に意味のある差であるかどうかをしらべてみることにした。

検討の方法として  $\chi^2$  検定を用いたが、その結果は第7表に示した通りである。以下その概要について述べてみたい。

#### 〔I〕 観察者の性と顔の輪廓の美しさの評価との $\chi^2$ テストの結果

観察者の顔の輪廓の美しさの評価との間に関連があるかどうか、換言すれば、観察者の男女の間に顔の美しさの評価に差があるかどうかをしらべてみたところ、次のような結果となった。

モデル A<sub>1</sub>（アンケート用紙の中の16個のモデル中最も細型）についてみると、観察者代において、男女とも1位であるが、男子の観察者は  $M=6.96$  であり、女子の観察者は  $M=6.85$  であった。その  $\chi^2$  の値は  $12.817^{**}$  となり 1% 水準で有意であった。

このことから、男子の観察者は女子の観察者に較べて、比較的細型の顔をより好むことがわかった。

#### 〔II〕 観察者の年齢と顔の輪廓の美しさの評価との $\chi^2$ テストの結果

観察者の年齢と顔の輪廓の美しさの評価との間に関連があるかどうか、すなわち、観察者の年齢の間に顔の美しさの評価に差があるかどうかをしらべたところ、次のような結果となった。

前述のモデルについてみると、観察者男子においても、観察者女子においても、年齢の若い観察者ほど評価がよくなっていた。すなわち、観察者男子の  $M$  は、10代 6.96、20代 6.77、30代 6.21 であり、また、観察者女子の  $M$  は、10代 6.85、20代 6.78、30代 6.44 であった。さらに、 $\chi^2$  の値をしらべてみると、観察者男子では、 $\chi^2=26.80^{**}$ 、観察者女子では  $\chi^2=17.674^{**}$  といずれも 1% 水準で有意であった。

このことから、観察者男子でも女子でも、年齢の若い観察者の方が、年齢の若くない観察者に較べて比較的細型の顔を好むことがわかった。

### IV. 総 括

女子の身体的理想像に関する研究（その8）として、顔の輪廓の美しさを取りあげ、アンケート用紙に画いたモデルによってその美しさをしらべたところ、次のことがわかった。

① 16個のモデル中、美しさの評価が第1位となったモデルを実物に換算すると、顔面高 11.60 cm として、頬幅 12.75 cm、顎幅 9.90 cm、頬豊度 2.50 mm、顎豊 2.00 mm 度であった。

② 観察者の性や年齢によって顔の輪廓の美しさの評価に差があるかどうかしらべたところ、観察者男子は観察者女子に較べてより細型の顔を好み、観察者の年齢が若い程より細型の顔を好むことがわかった。

### V. 反 省

この研究は女子の身体的な美しさを数量化し、理想的形態を数値であらわすとともに、美しさの尺度を作って、今後の女子体育の指導に役立てたいと考えたのであるが、終ってみると不備な点が数多く出て来た。その一つは美しさの尺度の作成がほとんど出来ていな

いことである。尺度作成のためには数多くの被験者の測定値をもとに、精密な計算を行ない、科学的な根拠による標準を作らねばならない。これはこれからの仕事である。

つぎに、アンケート用紙作成の基礎資料は体育専攻学生を対象としてのみでなく、より広汎な範囲で対象を選定することが必要である。これは美しさの評価の一般化のためには是非必要であろう。

今後これらのことを少しずつでもやっていきたい。

#### 註

本研究は、本学々生小幡幸子、前島智加子、吉岡晴江の諸君の協力を得てなされたものであり、また、この研究の概要を日本体育学会第回大会で発表したことを附記する。

#### 参 考 文 献

- 1) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その1) 東京女子体育大学紀要 1967.
- 2) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その2) 東京女子体育大学紀要 1968.
- 3) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その3) 東京女子体育大学紀要 1969.
- 4) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その4) 東京女子体育大学紀要 1970.
- 5) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その5) 東京女子体育大学紀要 1972.
- 6) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その6) 東京女子体育大学紀要 1972.
- 7) 和泉貞男「女子の身体的理想像に関する研究」(その7) 東京女子体育大学紀要 1973.